

評価シート（年度評価）

東谷山フルーツパークの管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	公益財団法人名古屋市みどりの協会		
主な業務内容	東谷山フルーツパークの管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市守山区大字上志段味東谷2110		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和10年3月

2 評価結果

評価項目		評価区分	特記事項
管理体制及び協働	1 管理体制	職員配置	○ さくら守りボランティアなど市民と協働して維持管理・来園者サービスを行った。
		緊急時の体制	
		人材育成等	
	2 協働	市民等との協働	
		外部関係者との協働	
維持・管理運営等	1 維持管理	園内清掃	◎ 送水管などの老朽化施設の修繕や温室設備の修繕を進めた。危険な枯木の伐採・撤去など園内の安全管理に努めた。温室植物について薬剤を使わずに、薬水や剪定により害虫防除を行った。
		建物・設備の管理	
		保守・点検・修繕	
		植物管理	
		管理水準の維持	
		関係書類の調製・保管	
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○ ホームページのリニューアルや園内リーフレットの作成を行った。また、消毒や換気、席数の削減など感染症対策を実施した。
		利用者ニーズの把握と反映	
		利用者サービス向上策	
		接客・接客向上の取組み	
		苦情・要望に対する適切な処理	
		個人情報の適切な管理	
	3 この施設特有の管理	「農」に関する取組み	○ 感染症対策を講じながら収穫体験等を実施した。また、感染拡大防止のため実施を中止した試食イベントに代え、バナナペーパー作りなど体験イベントを実施した。
果樹育成の考え方			
4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	○ 令和2年度利用者数 入園者数：395,593人（前年比35.9%減） 温室入場者数：21,224人（前年比21.3%減） 【感染拡大防止のための閉園・閉館】 4/11～5/25閉園、～6/1温室閉館	
	イベント等の実施		
	講習会等の実施		
	利用者への広報・情報提供の実施		
	利用者数の増加		
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○ 感染拡大防止の影響で3大イベントは中止や縮小になったが、毎月の「フルーツふれあいDAY」などミニイベントを実施した。収支は支出超過となり、収益還元ができなかった。
		集客対策への効果	
		自主事業の収支及び還元	
		便益施設の管理運営	
収支	1 収支	経費節減策	○ 新型コロナウイルス感染症の影響に対して市から指定管理料の増額もあったが、支出超過となった。
		年間収支	
その他	1 その他	法令・協定の遵守	△ 協定に規定される、必要な協議等に対する軽視、不備が見られた。
		事業計画との比較分析	

## 【総合評価】

評価できる点としては、臨時閉園中においても電話相談を継続して実施していたこと、新たな取組に多くチャレンジしたこと（コーヒーインストラクター検定取得講座はユニークな取組）、コロナ禍のもとで感染防止に留意しつつ、バナナペーパー作りなどの体験イベントを実施し、魅力の向上を行っている点が挙げられる。また、4、5月を除くと入園者数が前年比100%以上であったこと、自主事業は何とかやりとげたこと、果樹栽培や樹木に詳しい職員の配属を行い、温室展示植栽のより一層の充実を図ったこと、園内の歩道の枝の垂れ下がり改善したこと、「しだみ古墳群ミュージアム」や守山区役所との連携を行い、イベント等の開催を相互協力による企画をし、来場者の向上を図ったことも評価できる。

志段味東小学校3年生の総合学習の展示はとても良いため、今後とも継続されることを期待している。また、体験型果樹園への再編について期待している。

改善、対応いただきたい点としては、寄附によるブドウの新品種の場合がよく分からなかったため、園内マップを置いていただけないかということ、事業報告書にある「果樹の品種」と園内看板にある品種名が一致しないため、その確認や更新、令和2年度収支はコロナ影響による市の指定管理料補填により若干の収支改善が見受けられたが、令和3年度以降は自主努力による対応を、また、シダレザクラの里保存プロジェクトの状況やふるさとナゴヤレモン園の状況が計画と比べてどの程度達成されているかについての事業報告書への記載、協定に記載されている事項を熟読して事業運営を図ることが挙げられる。

# 施設の現状

## 名古屋市東谷山フルーツパーク

施設の現状	施設概要							
	<p>果樹栽培の技術等の研究指導を行うとともに、市民に恵まれたレクリエーション活動の場の提供を目的とした施設です。例年、季節に応じて年3回(4月・5月・10月)の催事を行っていますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、縮小や中止になりました。また、感染対策を行いながら、くだものや東谷山に関する展示会(年14回)、果樹栽培等の講座(年27回)、くだもの収穫体験(年32回)などを行っています。</p> <p>平成30年度からの指定期間については、魅力ある施設とするための民間投資を行いやすく、また、安定的なサービスの提供を期待できると考え、10年としています。</p>							
	市の収支状況(千円) (2年度決算(見込)額)							利用料金
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	6,602
	147,465	19,927	167,392	1,829	4,139	161,424	167,392	
	特記事項							
	指定管理料は、新型コロナウイルス感染拡大による減収の補てんにより増額。							
	管理運営指標の状況	取組状況						
		指標	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
入園者数		人	434,882	428,976	502,736	395,593		
世界の熱帯果樹温室入館者数		人	35,045	39,219	33,133	21,224		
利用者1人あたりの運営費		円	356.6	333.4	290.3	372.8		
特記事項								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載